

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	総合政策部	
	17091	婚活支援事業		課名	政策課 政策調整G	
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	02:安心して産み育てられる環境づくりの推進			款	02:総務費
	施策の方向	05:出会い・結婚から定住への支援			項	01:総務管理費
戦略プロジェクト	-		目		07:企画費	
事業予定期間	H 28 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等				

② 目的・概要	対象	結婚を希望する独身男女
	目的	初婚年齢や未婚率は上昇傾向にあり、晩婚化・未婚化は人口減少の大きな要因となっていることから、結婚を希望する独身男女に出会いの機会を提供する。
概要		結婚を希望する独身男女に出会いの機会を提供するため、婚活イベントを開催する。また、婚活イベントを開催する企業・団体等に対し、補助金を交付する。

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○婚活イベントの開催(4回) ○婚活支援事業補助金の交付	○婚活イベントの開催(2回) ○フォローアップセミナーの開催(2回) ○婚活支援事業補助金の交付	○婚活イベントの開催(2回) ○フォローアップセミナーの開催(2回) ○婚活支援事業補助金の交付	
	年度実績	○婚活イベントの開催(2回)	○婚活イベントの開催(2回) ○フォローアップセミナーの開催(1回) ○婚活支援事業補助金の交付(1件)		
事業費	計画額	事業費	3,100千円	2,100千円	2,100千円
		国庫支出金	1,550千円	900千円	900千円
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	1,550千円	1,200千円	1,200千円	
	予算額	事業費	2,800千円	2,100千円	
		国庫支出金		900千円	
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	2,800千円	1,200千円	0千円	
決算額	事業費 ①	2,466千円	1,747千円		
	国庫支出金		868千円		
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	2,466千円	879千円	0千円		
人件費	総人件費 ②	461千円	467千円		
	一般職員	461千円	467千円		
	所要人員	0.06	0.06		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		2,927千円	2,214千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
④ 指標	①	名称	市主催の婚活イベント開催回数	計画値	4	2	2
		活動		実績値	2	2	
				単位	回	回	回
	②	名称	出会いの機会を得た独身男女の数(市)	計画値	120	80	80
		成果	市主催の婚活イベント参加者数	実績値	54	65	
				単位	人	人	人
	③	名称	出会いの機会を得た独身男女の数(民間)	計画値	40	40	40
		成果	民間事業者が補助金を活用し開催した婚活イベントの参加者数	実績値	0	20	
				単位	人	人	人

⑤ 事業の改善	前評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 婚活支援事業補助金については、引き続き、市ホームページで制度を周知するとともに、婚活イベント等を開催する見込みのある事業者等に情報提供を行う。また、市主催の婚活イベントについては、婚活イベント等でマッチングしたカップルに対し、フォローアップセミナーを開催する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 婚活支援補助金制度については、市ホームページで周知を図るとともに、婚活イベントを開催する見込みのある団体に対し、制度を活用したイベント開催について働きかけを行った。また、市主催の婚活イベントでは、マッチングしたカップルを対象としたフォローアップセミナーを開催した。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 市主催の婚活イベント(2回)を開催するとともに、マッチングしたカップルを対象としたフォローアップセミナー(1回)を開催した。 また、市内の民間団体が行う婚活イベントに対して婚活支援事業補助金(1件)を交付した。	B  まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 市主催の婚活イベントについては、結婚を希望する未婚の男女65人に対して出会いの機会を提供することにより、7組のマッチングにつながった。また、マッチングしたカップルを対象としたフォローアップセミナーを開催し、結婚に対する不安解消などにつながった。 一方、婚活支援事業補助金については、民間団体が行う婚活イベントを支援することにより、未婚の男女20人が出会いの機会を得ることができ、うち1組のマッチングにつながった。	B  まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 市主催の婚活イベントについては、より効果的な交流機会となるよう検討するとともに、マッチングした参加者をフォローアップセミナーの参加へつなげる必要がある。 また、婚活支援事業補助金については、積極的に制度周知を行い民間での婚活イベントの開催を促進する必要がある。	今後の方向性  <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他  【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 市主催の婚活イベントについては、これまでの参加者アンケート等も踏まえ、より多くのマッチングにつながるイベント内容とし、フォローアップセミナーをより効果的に開催するなどの工夫をする。 婚活支援事業補助金については、引き続き、市ホームページで制度周知を図るとともに、婚活イベントを開催する見込みのある団体に情報提供を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 市主催の婚活イベントの開催や婚活支援補助金の交付により、より多くの結婚を希望する未婚の男女に対して出会いの機会が提供できる。また、フォローアップセミナーにおいてイベント等でマッチングしたカップルを支援することにより、結婚に対する不安や疑問等を緩和し、ひいては未婚率の低下に寄与することが期待される。	
	対応時期	令和元年度	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 政策調整グループリーダー 堤 大介
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	C	B			
	成果	C	B			